

5月市長定例記者会見要旨

と き 平成30年4月27日（金）10時00分～10時45分 ところ 庁議室

1. 平成29年度ふるさと納税について

(1) 件数および金額（見込）

	平成28年度	平成29年度	前年度比
件数	15,505件	23,968件	154.6%
金額	489,320,812円	1,350,212,401円	275.9%

◎寄附金額は、前年度に引き続き県内第2位

※平成20年度以降の納税額の推移は、別添資料「佐伯市ふるさと納税額の実績」参照

(2) 平成29年度 増加の主な要因について

①平成29年9月に謝礼品のリニューアル

300品から430品に増やし、佐伯の旬のものを送る定期便を新設した。
定期便は、年4回（1月、4月、7月、10月）高級ブランド食材を提供する。

②謝礼品カタログ（冊子）を作成

10,000部 主にインターネットを通じての手続きができない方を対象

③ポータルサイトに楽天とANAを追加

平成29年度 23,968件

（内訳）ふるさとチョイス 19,937件、 楽天 3,286件

ANA 745件

平成28年度 15,505件 ふるさとチョイスのみ

④決済方法もコンビニや携帯電話による決済を追加

クレジットカード 86%、 郵便振込み 7.5%

コンビニ、携帯電話 4%、 口座振込み 2.5%

⑤災害支援として返礼品なしのサイトを一時開設

218件 5,039,800円 （平成29年9月21日から12月25日）

(3) 謝礼品について

- ・件数で人気があるのは海産物（干物、とらふぐ、車エビ等）
- ・寄附金額が多かったものは、定期便

(4) 寄附金の使い方について

平成29年12月26日に「ふるさとさいき応援基金条例」を制定しており、同日以降に寄附された寄附金は一旦基金に積立てた後、ふるさとさいき応援寄附金要綱に基づき平成30年度に、次の事業に充当する。

平成29年度基金積立額 518,736,707円

平成30年度当初予算充当の内訳

- ①豊かな自然と文化を守り育てるための事業 115,100,000円
 - ②さいきのこどもたちを育てるための事業 97,700,000円
 - ③地場産業を応援するための事業 50,800,000円
 - ④みんなが安心して暮らせるまちを創るための事業 31,300,000円
 - ⑤みんなが元気になり、地域の活力を生むための事業 48,700,000円
- 充当先未定分 175,136,707円

(5) 平成30年度の新たな取組みについて

さらなる魅力ある謝礼品等の充実を図るため、ふるさと納税のお礼特産品出品事業者で構成する協議会の設立を5月29日に予定。

2. 九州オルレさいき・大入島コース「岩ガキオルレフェア」の開催について

本年3月にコースオープンした「九州オルレさいき・大入島コース」で初のオルレフェアを開催。海が身近に感じられる「舟隠」や360度の大パノラマ「遠見山展望所」など魅力のスポットを体験しながら、フェアの目玉である大入島産の大粒でクリーミーな旬の「岩ガキ」を堪能してもらう。また、コースの各所では地域の方々による心温まる「おもてなし」で、参加者を歓迎する。

(1) 日 時 5月27日（日）10時 スタート

(2) 場 所 カンガルー広場（久保浦）スタート

(3) 募集人数 300名

- (4) 参加費 1,500円(往復乗船料・昼食代含む)
参加者には、記念オルレ缶バッジを無料配布する。
- (5) オルレフェア今後の予定(年4回実施予定)
第2回 平成30年10月上旬～中旬
第3回 平成30年12月上旬～中旬
第4回 平成31年 3月上旬～中旬
- (6) コースオープンからの体験者数(4月23日現在)
体験者数:1,087人 うち外国人 162人

3. さいき農業サポート人材バンクの設立について

- (1) 目的
「人手を必要とする農業者」と「農業を手伝う方(=農業サポーター)」を結び付け、担い手不足といわれる農業分野に人材を供給することにより、農家の労働力不足の解消と農業の活性化を図る。
- (2) 設立年月日 平成30年4月27日(金)
- (3) 窓口 佐伯市役所 農林課、各振興局 地域振興課
- (4) 設立の経緯
施設園芸従事者を中心に、高齢化による人手不足により繁忙期の人材確保が困難になったため、人材バンクを希望する要望がされ、平成29年度に地域おこし協力隊員を中心に大分県、JA等の関係団体の協力を得て検討会を重ねてきた。あわせて、サポーター候補となるスポーツクラブ、サロンの会等の団体に対する説明会を通じての意見聴取や、農業者を訪問しての人材バンク活用希望調査も行った。農業者に対する希望調査では、223件の内、希望するとの回答が89件(約4割)あった。
農業分野における人材バンクの設立は、県内の自治体としては初めての取組み。
- (5) 登録の促進
①農業者
・認定農業者、新規就農者を対象に説明会を開催
・地域おこし協力隊員による農業者の戸別訪問

②農業サポーター

- ・市報、市ホームページでの周知
- ・市内関係事業所等でのポスターによる周知
- ・地域おこし協力隊員による地域各種団体、近隣市住民への周知

※人材バンクの詳細は、別紙「さいき農業サポート人材バンク」参照

4. 嘉風関佐伯相撲合宿について（佐伯市文化・スポーツツーリズム推進事業）

郷土出身力士の嘉風関をはじめ尾車部屋力士の相撲合宿を本市に招へいし、これを契機として、その関係団体にも佐伯市を利用してもらうことにより、地域の活性化と交流人口の拡大を図る。

嘉風関の佐伯市での相撲合宿は、本合宿が初めてとなる。

- (1) 期 日 6月4日（月）～ 6月9日（土）
- (2) 場 所 佐伯市総合運動公園相撲場
- (3) 内 容 公開稽古、施設・学校訪問、子ども相撲体験、観光体験など
- (4) 参加予定力士（8名）
嘉風関、天風関、友風、栄風、竜風、富士ノ風、迅風、藤川
- (5) 事業実施主体 嘉風関佐伯合宿実行委員会